現場作業風景

作業道開設に伴う完成検査の様子(大仙市にて)

生産された素材の検尺状況（羽後町にて）

林業事業体への現地案内(三種町にて)

林業の若手就労者へ測量を教える様子

各地区担当職員

地域	市町村	担当職員
県北	鹿角市、小坂町	鈴木
	大館市、北秋田市、上小阿仁村	鈴木
	能代市、三種町、八峰町、藤里町	渡邊(健)
中央	秋田市、男鹿市、潟上市、五城目町、井川町	森合
	由利本荘市、にかほ市	鎌田
県南	大仙市、仙北市、美郷町	佐藤
	横手市	福田
	湯沢市、羽後町、東成瀬村	福田

★契約者の皆さまへ（お願い）

次のような場合は、各地区担当職員**（TEL:018-865-1101）までご連絡**ください。

◇相続等により契約名義人が変更になった。

◇代表者が変更になった。（組合、寺社、会社等で契約されている場合）

◇住所や電話番号などに変更があった。

これらの変更は契約者の皆さまからの届出がないと、**分収金の交付手続き等に支障が生じる**場合があります。皆さまの御協力をお願いいたします。

林業公社だより

2023
No.8

公益財団法人秋田県林業公社　　令和５年(2023年)８月７日発行

〒010-0931　秋田市川元山下町８番28号（森林組合会館）　TEL 018-865-1101　FAX 018-865-1129
URL http://www.akita-rk.sakura.ne.jp/　E-mail akita-rk@circus.ocn.ne.jp

ごあいさつ

由利本荘市新沢字桑ノ木公社

理事長　**三森　道哉**
（秋田県 農林水産部 次長）

日頃から当公社の運営について格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、去る６月に開催されました理事会及び評議員会におきまして、令和４年度事業報告ならびに収支決算が承認されましたので、概要を報告いたします。

令和４年度は、前年度からのウッドショックにより原木価格が上昇基調の中でスタートしましたが、エネルギー価格の高騰による住宅需要の減少や合板工場の火災の影響等により、年度途中から原木需要が大きく落ち込むなど、経営を取り巻く情勢が不安定な年になりました。

こうした中、当公社では、収穫間伐事業の早期発注を行うなど、間伐材の販売促進に努め、販売収入は計画を上回る実績となりました。

今年度は、年度当初から、原木の需要・価格ともに低迷する厳しい情勢となっておりますが、能代市で建設が進められている大型製材工場の原木集荷が始まるなど、新たな動きも加わることから、情勢変化をしっかりと見極めながら、適時・適確な原木供給に努めてまいります。

また、脱炭素社会の実現に向け、森林の二酸化炭素吸収機能の向上に資する間伐の重要性は、ますます高まってきておりますことから、公益法人である公社といたしましては、環境保全機能と木材生産機能の調和を目指し、森林の有する多面的機能を高度に発揮させるため、事業計画の達成に向け引き続き努力してまいりますので、今後とも一層の御理解と御協力をお願いいたします。

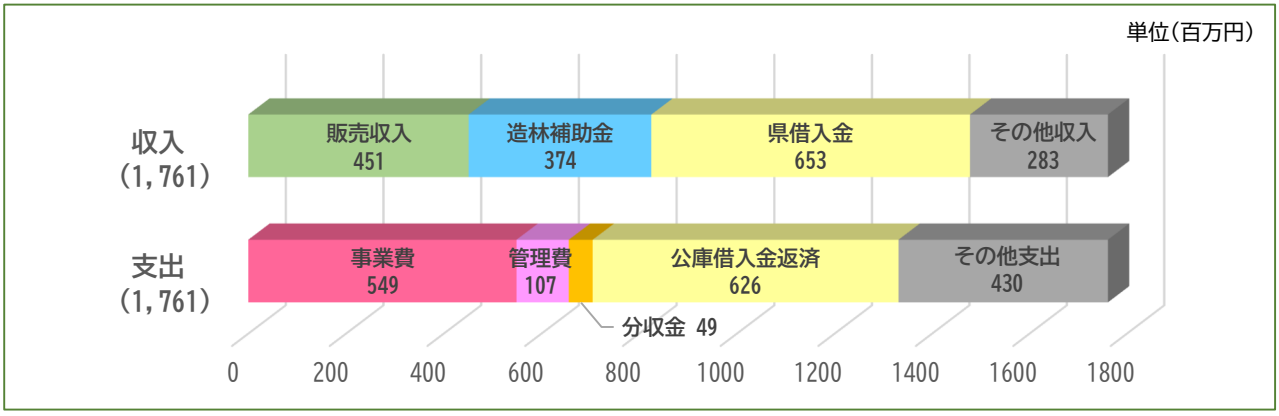
公社の組織体制

役員等：評議員 ５名、理事 ６名（うち理事長 １名、専務理事（事務局長を兼務）１名）
　　監事 ２名、会計監査人 １名　　※専務理事以外は非常勤
職　員：14名
　　総務課　６名　（課長 １名、職員 ３名、嘱託 ２名）
　　業務課　８名　（課長 １名、職員 ６名、嘱託 １名）

令和４年度事業実績及び令和５年度事業計画

項　　目		令和４年度実績		令和５年度計画	
		事業量	事業費(円)	事業量	事業費(円)
保育事業	除伐	－	－	－	－
	間伐	133.66 ha	23,857,900	63.28 ha	11,738,000
収穫事業	収穫間伐	705.80 ha	486,550,947	783.88 ha	617,697,000
	販売委託費	40,935 ㎥	18,139,938	42,238 ㎥	19,984,000
	収穫調査費	－	－	－	－
付帯事業	作業道開設	12,869 m	20,661,300	11,260m	22,318,000
	道路補修	2 か所	245,564	18 か所	3,347,000
主伐事業	主伐	14.82 ha	20,020,000	48.45 ha	－

令和４年度収支状況



TOPIC

Ｊ－クレジット制度への取り組みについて

Ｊ－クレジット制度とは、省エネ・再エネ設備の導入による温室効果ガスの排出削減量及び適切な森林管理による温室効果ガスの吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。認証されたクレジットは、企業等が購入することができ、購入した企業等は温室効果ガスの排出量を「削減したことにできる」ことになっています。

当公社は、三井物産(株)と共同で令和４年度からこのＪ－クレジット制度に取り組んでおり、令和５年度末からのクレジット取得を目指しています。この取り組みを通じて、脱炭素社会の実現に寄与するとともに、クレジット販売から得られた収益により公社林の公益的機能の増進を図ることとしています。

経営改善への取組状況

当公社では、長期的な公社経営の改善を図るため、契約者の皆さまの御理解と御協力のもと、契約期間の見直しなどを進めています。

第 10 次長期経営計画（平成 30 年 3 月策定）に基づく、平成 30 年度から令和 4 年度までの計画及び実績は次のとおりです。

① 契約期間の延長（契約期間 65 年以下を 80 年に延長）

年　　度	～H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
目標（ha）	27,895	200	200	200	200	208	26,453
実績（ha）	25,445	241	204	206	20	104	26,220
達成率（%）	91	121	102	103	10	50	99

② 分収割合の変更（土地所有者４割：林業公社６割の分収割合を、３割：７割の分収割合に変更）

年　　度	～H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
目標（ha）	19,980	200	200	200	150	148	19,477
実績（ha）	18,579	224	111	35	21	24	18,994
達成率（%）	93	112	56	18	14	16	98

③ 針広混交林化・広葉樹林化施業の同意（針広混交林や広葉樹林に転換させる施業の同意取付）

年　　度	～H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
目標（ha）	19,477	250	250	250	250	244	14,170
実績（ha）	12,926	209	127	36	21	4	13,323
達成率（%）	85	84	51	14	8	2	94

④ 除地協定の締結（今後施業を行っても採算が見込めない、生育の不十分な森林を除地とする協定を締結）

年　　度	～H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
目標（ha）	1,318	241	198	150	150	95	1,904
実績（ha）	1,070	50	204	156	66	47	1,593
達成率（%）	81	21	103	104	44	49	84

より一層の経営改善を図るため、
今後も引き続き取り組んでまいりますので、
皆さまの御理解と御協力をお願いいたします。